

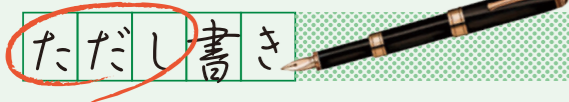
学校たより

2023年 冬号

VOL. 272

表紙: 看護学科1年

まっむらだしの



No.47

フロレンス・ナイチンゲール(1820-1910年)の『看護覚え書』に「病人の観察」という1章があり、以下のように書かれています。「もしあなたが観察の習慣を身につけられないのであれば、看護師になることを諦めたほうがよいであろう。なぜなら、たとえあなたがどんなに親切で熱心であるにしても、看護はあなたの天職ではないからである」

自身も医師(眼科医)だったアーサー・コナン・ドイル(1859-1930年)は、主人公である名探偵のシャーロック・ホームズにこう語らせます。「私が見ているものにそれと気づくように、私は自分を訓練してきた」

看護師や医師や探偵という稼業は、見ること・観察することなしには成立しません。しかし視野に入るものすべてが見えるわけではありません。取捨選択が働きます。また大事なものは、単に見るだけではなく、気づかなければなりません。英語にも、seeing without noticing(見ているのに気づかない)やinattention blindness(無関心・不注意による見逃し)という言い回しがあります。

さて皆さん、30秒足らずの練習です。次のビデオの中で、白い上着の3人のパス回しの数を当ててください。



洛和会京都厚生学校
学校長 松村理司

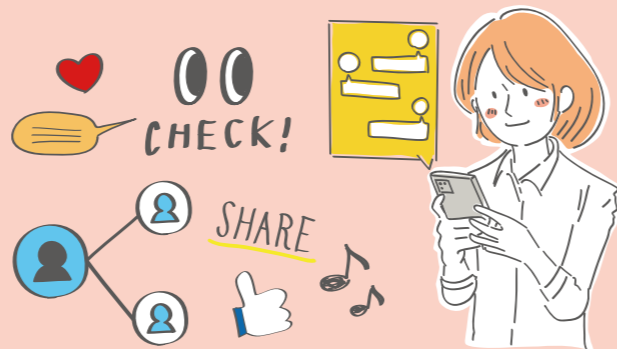
お知らせ Information

令和5年 行事予定表

- 1月11日~26日 老年看護学実習 I
- 2月 1日~ 3日 基礎看護学実習 I
- 9日 助産師国家試験
- 12日 看護師国家試験
- 3月 3日 卒業式

ソーシャルメディア 利用の心得

- 個人情報の書き込み、写り込みはありませんか?
- 怪しい投稿のリンクは絶対にクリックしないで!
- 他者を傷つけたり、誤解を生む内容ではないか投稿前に再確認を!



FOLLOW ME!!

洛和会京都厚生学校



KYOTOKOUSEI.SC

やっませす!

発行/学校法人 洛和学園 洛和会京都厚生学校 (発行日 2023年1月)

〒607-8064 京都市山科区音羽八ノ坪53-1
URL <http://www.rakuwa.or.jp/nsschool/>
印刷/株式会社ティ・プラス

TEL 075 (593) 4116(代) FAX 075 (593) 4128
E-mail info@kyoto-ns-ac.jp



Candle Ceremony

看護への誓い

キャンドルセレモニー2022

P2-3 看護への誓い

P4 水脈祭

P5 学校掲示板

P6 第32回洛和会ヘルスケア学会

P7 教員のオススメ図書紹介

プロモーション動画が見られます!



看護学科



助産学科

※洛和会京都厚生学校では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため学生・教員のマスク着用を徹底しております。本誌の撮影にあたっては予防策を徹底した上で、一時的にマスクを外しました。

キャンドルセレモニー 2022 — 看護への誓い —

10月22日、京都市東部文化会館(京都市山科区)にて「令和4年度 キャンドルセレモニー 2022—看護への誓い—」が挙行されました。看護学科1年生79人が、ナイチンゲール像から灯りを受け取り、キャンドルの明かりの中で、決意を新たに看護師への道を歩み始めました。

祝辞

当会の病院では、ナースキャップの着用をやめました。しかしながら、ナースキャップの着用がなくなっても、キャンドルセレモニーを行うことは、とても大事なことだと思います。病院での本格的な実習に向けて、心構えが一新する節目となるものです。ナースキャップの授与が白衣や聴診器などに変わっても名前を変えてセレモニーを行っていただきたいと思います。

本格的な病院実習が始まり、自分の思っていた看護の考え方と実際に患者さんへ行う看護の違いを感じることもあると思います。これからいろいろと苦しいこともあるかと思いますが、同級生を大事にしてください。同級生同士でいろんな悩みを共有してください。学校の先生方も悩みを聞いてくれると思います。今後、君たちが一人も欠けることなく、国家試験に合格して、育ってくれることを心からお祈りしています。

洛和会ヘルスケアシステム 会長
洛和会京都厚生学校 理事長

矢野 有洛(一郎)



看護への誓い

私たちは、看護の対象となるすべての人の気持ちに寄り添い、その人らしさを尊重できる看護師を目指します。

私たちは、いつも優しく思いやりのある人でいられるよう、温かい心と笑顔を大切にします。

私たちは、地域に貢献できる看護師を目指し、多様な価値観を受け入れ、人とのつながりを大切にします。

私たちは、優れた思考力・判断力・豊かな表現力を身に付け、専門職として必要な知識や技能を学び続けます。

本日の誓いに恥じぬよう、
謙虚な心と周囲の人への感謝の気持ちを忘れず、
看護の道を歩むことをここに誓います。



たくさんの方々に支えられ、無事キャンドルセレモニーという大きな節目を迎えることができました。キャンドルセレモニーを通して看護師という命に関わる職業を目指すことへの誇りと責任の重さを改めて実感しました。これから大変なことも多くあると思いますが、仲間とともに高め合い、常に周りの方々への感謝の気持ちを忘れず、思いやりのある優しい看護師になれるように頑張っていきたいです。

看護学科 1-A
甲斐 音葉



キャンドルセレモニーを終えて目指す看護師像に一步近づけたと感じ、うれしく思うとともに専門職としての心構えや責任の重さを自覚しました。このキャンドルセレモニーは、私たちにとって一生忘れることのできないものとなりました。まだまだ足りない部分もあり、これからもっと大変なことも増えていきます。周囲の人への感謝を忘れず、同じ志を持つ仲間と協力し合いながらみんなに信頼してもらえる看護師を目指したいです。

看護学科 1-A
今北 彬文



Miosai Festival! 水脈祭

10月16日に、本校の学校祭「水脈祭」が開催されました。多くの方にご来場いただき、ありがとうございました。今回は水脈祭を支えた水脈祭実行委員の頑張りをご紹介します！



3年前までは模擬店などを出店し、地域の方や洛和会ヘルスケアシステムの職員の方々と関わりを深める場として、にぎやかに行われていた水脈祭。コロナ禍でイベントや交流会が開催しにくい状況ですが、今年は入場制限を設けながら、縦割グループが一丸となり、個性豊かなブースを設営しました。私たち1年生・2年生にとって初の水脈祭となった当日は、晴天にも恵まれ、たくさんの方々に看護について知っていただけました。学生・先生方・地域の方々、笑顔の絶えないとても貴重な時間を過ごすことができました。

やまだ
看護学科 2-A 山田ひなた



学校掲示板



NCPRの講習を受講して

NCPR(新生児蘇生法)の実習を初めて行い、改めて助産師として瞬時の判断と的確な手技が求められると感じました。現場で実際に蘇生が必要なお産に立ち会う時は、状態を把握し、アセスメントを行いながら必要な介入ができるようにしたいです。また、チームメンバーとの連携が重要となる蘇生には、自分の役割を理解して声を掛け合いながら、自分が何をすべきなのかを考え、行動することが必須だと学びました。シミュレーションを行うことで、リアルなイメージを持ちながら練習できたので、実際の新生児介助にも生かせるように今後も練習に取り組みたいと思います。NCPR実習は12期生全員が合格できました。残りの実習も20人で最後まで頑張ります！

助産学科 12期生
おおいそ ももか
大磯 桃花



初の実践経験

今回の実習で初めて患者さんへの看護を初めて実践。とても緊張しましたが、患者さんから「ありがとう」という言葉をいただいたことで緊張がほぐれ、実習の励みになりました。患者さんの個性を生かした援助を行うことに苦戦しましたが、医師や看護師さんからご指導や評価をいただき、自分の課題把握や学びにつながったと思います。また、看護過程の展開を行い、患者さんにとって必要な看護援助を実施するため、患者さんの情報を得ることの大切さや意図的な情報収集や分析を行う厳しさを学びました。この学びを今後に生かしたいです。

看護学科 2-B
たかはし みさき
高橋 美咲

第32回洛和会ヘルスケア学会

開催期間

会場：2022年10月23日(日)
Web：2022年10月21日(金)～11月30日(水)

会場

京都市勧業館 みやこめッセ 地下1階

後援：京都市
京都新聞社

第32回洛和会ヘルスケア学会が10月23日にみやこめッセ(京都市左京区)で開催されました。本校からは、看護学科 副学科長 坂井 直美が「卒業前看護技術演習の取り組みと今後の課題」について、助産学科 奥村美由希が「実習開始前における助産師学生の助産診断過程の到達状況」を発表しました。



今日の教育の現場では、「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」を重視しています。看護基礎教育の3年間で、課題発見力・探求力、省察力、コミュニケーション力を育み、たくさんの経験してもらいたいと思っています。「分かる・できる喜びを体感してほしい」その意味では、卒業前演習をさらにより良くしていきたいです。

さかい なおみ
看護学科 副学科長 坂井 直美

教員の皆様のご協力により、無事にヘルスケア学会の発表を終えることができました。研究を行ったことにより、自分自身の行った授業内容を振り返る良い機会となり、今後の授業の在り方や現時点での課題を見出すきっかけとなりました。これからも、より良い講義や演習が行えるような授業づくりをしていきたいと思えます。

おくむら みゆき
助産学科 教員 奥村 美由希



教員のオススメ図書紹介

学校の図書委員会では、月替わりに学生に読んでもらいたい内容の本や学生が関心のありそうな本を選び、学校のエントランスにて紹介しています。ぜひ読んでみてください！



『誕生死』^{たんじょうし} 流産・死産・新生児死で子をなくした親の会 著

流産、死産、新生児死亡で子を亡くした親の手記。生後間もなく、あるいはおなかの中で赤ちゃんを亡くされた方々の正直な思いが伝わっています。子どもは元気に生まれてくるのが当たり前ではないということ…。どんなに短い間でも自分に宿った命はとてかけがえがなく、「この世に生を受け、生きていけるということは奇跡」ということを実感できる1冊です。

助産学科 学科長
ほんごう ちぐさ
本郷 千草



『ネガティブ・ケイパビリティ』 答えの出ない事態に耐える力

帝木 蓬生 著

多くの受賞歴がある小説家であり、臨床40年の精神科医が、悩める代理人に最も必要と考えるのは「共感する」ことです。この共感が成熟する過程で伴走し、容易に答えの出ない事態に耐える能力がネガティブ・ケイパビリティです。古くは詩人のキーツがシェイクスピアに備わっていると発見した「負の力」。第二次世界大戦に従軍した精神科医ピオンにより再発見され、著者の臨床現場で腑に落ちる治療を支えています。昨今は教育、医療、介護の現場でも注目されています。

セラピー犬の「心くん」の分かる仕組みからマニュアルに慣れた脳の限界、現代教育で重視されるポジティブ・ケイパビリティの偏り、希望する脳とプラセボ効果との関係…せつかな見せかけの解決ではなく、共感の土台にある「負の力」がひらく、発展的な深い理解へ。



看護学科 副学科長
さかい なおみ
坂井 直美

